
私のラブストーリー

日向子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私のラブストーリー

【Nコード】

N09181

【作者名】

日向子

【あらすじ】

「あのね、女の子は大変なの。綺麗なお姫様になる日までダイスキなあなたの事を毎日思い浮かべては、ため息をついてしまったり…ね。」私の人生の中でも一番ドキドキした。そして、一番振り回された、振り回した、大好きな男とのラブストーリー。

第一話（前書き）

純粹な小説ではありません。
実話からきているので、
不愉快な表現も含まれます。
ご了承ください。

第一話

「私」のラブストーリー。

良い思い出から悪い思い出
両手じゃ抱えきれない程
色んな体験をさせてくれたあなたに
感謝しています。

伝えたくても伝え切れなかった
あなたに対する素直な気持ち。

直接じゃ恥ずかしいことも、
文字にして全部伝えます。

第二話

私の人生に名を刻んだ男、コウタ。
年齢は私の六個上。

取り敢えず、初めて遊んだ日
私はコウタと体の関係を持った。

付き合っではない。

世の中そんなもんでしょ？
付き合っていないなくても
やれてしまう。

決まった相手がいるわけじゃないから
拒む理由も無い。

そんな感じで私は今まで生きてきた。

悲しい女とか思われてるんだろうな…

まあ、自業自得ってやつ。

コウタとの行為は
他の人と変わらない愛撫、ゼンギ、抱擁
他の人と変わらない。

そう思っていたが、違った。

優しい愛撫、ゼンギ、抱擁。

その行為中、コウタは何度も優しく接してくれた。

他の人はただやるだけ。

みたいな感じで全部が適当。

自分が果てれば良い。

私も、それでいいや。

そんな感じの行為ばかりだったからコウタとの行為は新鮮だった。

少しの気遣いが嬉しかった。

ほんの、少しの気遣い、たったそれだけ。

でも、大事なことだと思う。

そうゆう事が自然とできてしまうコウタはきつと女をとりこにするのだろうか…

普通に遊んでる時ですら、細かい気配りが上手いのだ。こういう男がモテるんだ、きつと。

そこらへんの女が放つとくわけがない。

行為中も携帯が光っていた。

着信が気にならないように

サイレントにしといたのだろうか、

暗いホテルの一室では逆に目だっていた。

私目線からただけだけ。

行為後、携帯を確認するコウタ
眉間にしわが寄っている。
メールの一つ一つにちゃんと
返信をしているのだろう。
テレビを見ている不利をして
コウタを観察していた。

なんか可愛かった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0918i/>

私のラブストーリー

2010年10月28日06時49分発行